

## がん治療を受けながら 働く従業員の支援とは？



**Q** 従業員が「がん」と診断され、長期間の治療が必要と

**A** は、従業員や家族は、突然がんと宣告され、大変不安なことを思います。会社

の申し出がありません。会社としては働き続けてもらいたいのですが、どのように対応していくべきか教えてください。

## がん治療しながら働く従業員への支援

としては治療期間中の業務内容や休日・勤務時間の変更などの検討が必要となります。かつては「不治の病」と言われたがんも、治療技術の進歩などにより5年相対生存率は向上し、長く付き合う病気と言われています。治療をしながら働き続けることは、収入の安定など労働者にとって望ましいことです。

会社にとっても労働者の安心感やモチベーションの向上による人材の定着、生産性の向上などにつながります。さらに、一定の勤務上の措置や治療に対する配慮を行うことは、労働者の健康確保

対策と位置付けられています。

厚生労働省が公表している「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」では▽休暇・勤務制度などの職場環境の整備▽両立支援の進め方▽利用できる支援制度などが掲載されています。これらを参考に従業員や主治医とよく話し合ってください。

鳥取労働局のホームページにはガイドラインのほか、企業や病気の治療中の労働者向けに、鳥取県内の相談窓口を紹介したリーフレットを掲載しています。